

# 平成24年度 古市小学校 第1学年「算数科」シラバス

## 【学習の目標】

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにします。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにします。

## 【学習する主な内容】

	単元名	主な学習内容
4	○なかまづくりとかず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件や観点に応じたものの集合をとらえる。</li> <li>・2つの集合の要素を1対1に対応させ比べる。</li> <li>・順序や位置を数で表す。</li> <li>・具体物や半具体物による5～10の数の合成、分解する。</li> <li>・加法の意味（合併、増加）を知り、和が10以内の加法計算をする。</li> <li>・0を含む加法計算をする。</li> <li>・減法の意味（減少、差）を知り、被減数が10以内の減法計算をする。</li> <li>・0を含む減法計算をする。</li> <li>・20までの数の唱え方、数え方を知る。</li> <li>・20までの数の読み方、書き方を知る。</li> <li>・何時、何時半の読み方を知る。</li> <li>・絵や図などを用いて、ものの個数を表し、読み取ったりする。</li> <li>・二つの物の長さを比べる方法を考える。</li> <li>・ものの長さを任意単位を用いて比べる。</li> <li>・簡単な3口の数の加減計算をする。</li> <li>・かさの概念、測定の基礎</li> <li>・繰り上がりのある加法の計算では、10のかたまりを作ればよいことを知る。</li> <li>・立体の形に着目して、同じ形の仲間集めをする。</li> <li>・繰り下がりのある減法の計算の仕方を考える。</li> <li>・場面を見て、どんな演算を適用すればよいか判断し問題を解く。</li> <li>・広さの概念</li> <li>・10のかたまりを作って、数を数える。</li> <li>・「一の位」「十の位」という言い方を知る。</li> <li>・100までの数の唱え方、数え方を知る。</li> <li>・何時、何分の読み方。</li> <li>・数の乗法・除法的構成の初歩。</li> <li>・順序、順序数に関する加法や減法をする。</li> <li>・異種の量について加法や減法をする。</li> <li>・色板やひごを用いた基本的な平面図形の構成を知る</li> <li>・ものの表し方の素地</li> <li>・1～2位数の加減法の習熟。</li> <li>・1学年の学習内容の総復習。</li> </ul>
5	○なんばんめ ○いくつといくつ	
6	○あわせるといくつ ふえるといくつ	
6,7	○のこりはいくつ ちがいはいくつ	
7	○10よりおおきいかず	
	○なんじなんじはん ○はなはなんこさいたかな	
9	○どちらがながい	
10	○3つのかずのけいさん ○どちらがおおい ○たしざん	
11	○かたちあそび ○ひきざん	
12	★どんなけいさんになるのかな ○どちらがひろい	
1	○20より大きいかず	
	○なんじなんぶん ★ビルをつくろう ○ずをつかってかんがえよう	
2	○かたちづくり ★ばしよをあらわそう ★けいさんピラミッド	
3	★1ねんのふくしゅう	

## 【保護者の方へ】

学習内容が子どもたちにより定着するよう、帯時間などで計算ドリル・計算カードやプリント等を利用し、くり返し学習を行っています。宿題等の家庭学習では、お子様が意欲的に取り組めるよう、励ましてあげてください。ご協力をよろしくお願いします。